

活力みなぎる緑の郷土

議会だより

なかしべつ



温室の中はもう春... (中標津農業高校)

主な内容

行政報告・教育報告	P 2 ~ 3
一般質問	P 4 ~ 8
議会議決	P 9・12
予算審査特別委員会	P 10 ~ 11
臨時会	P 13

平成16年4月

No. 61

平成16年

3月定例会

平成16年3月定例会は、3月8日から18日まで開催されました。一般行政報告、教育行政報告の他、一般質問には6名の議員が10項目について理事者の考えを質しました。

また、各会計予算の審議のため、予算審査特別委員会が設置され、3日間にわたって説明と質疑が行われました。

この他、各会計補正予算、条例の制定と改正等23件、人事案件3件、意見案5件など41件を原案通り可決しました。

一般行政報告

要望等について

根室支庁管内町村会や中標津・羅臼合併協議会などの各種機関として、道並びに関係省庁及び国会議員に対し、除雪経費の特別交付税算入、合併事業に対する支援など合計五件の要請を行いました。

寄贈金品について

町に対し、現金で3件4百51万円、物品で2件、また社会福祉協議会に対しても、現金で26件百13万円の善意が寄せられました。深く感謝申し上げます。

中標津町・羅臼町

合併協議会の 協議状況について

1月29日に第1回協議会が開催され、協議会規約・予算・事業計画など基本的な項目について協議が行われたほか、合併方式については、両町を廃止し、新しい市を設置する新設合併とすることとし、合併の時期は平成17年10月1日となりました。

第2回の協議会は2月20日

に開催され、新市の名称・議会議員の定数及び任期ほかを小委員会に付託することになり、次回は3月25日に開催する旨報告がなされ閉会しました。

1月13日夜半から 低気圧(暴風雪)による 被害状況について



懸命な除雪作業

このたびの暴風雪では、緊急事態に備えた除雪体制を敷き、被害の軽減にあたってまいりましたが、農業関係の被害が深刻であり、畜舎・D型ハウス・サイロなど57件、牛乳の廃棄8戸、推定被害額合計では2億百50万5千円と取りまとめ、道に報告をしたところですが、さらに2月23日にも暴風雪警報が発令、吹雪による道路の閉鎖、及び停電などが発生したことから今後

は被害の発生を最小限に止める危機管理について再考しなければならぬと考えております。

可燃ごみ根室市処理 委託の現況について

別海町平系地区の中間処理施設の建設計画が大きくずれ込んだため平成16年1月5日より1日平均25トン当たり2万円」の可燃ごみを根室市焼却施設にて順調に委託処理を行っております。

共同リサイクルセンター の完成について

根室北部廃棄物処理広域連合が建設中の共同リサイクルセンターが3月25日をもって完成の予定です。

この施設は、中標津・羅臼の3町が使用し、現在分別されずに処理されているそ



完成したリサイクルセンター



新築なった中標津中学校

の他プラスチック製容器包装・その他紙製容器包装・牛乳パックの3種類が新たに分別収集されることとなります。

中標津空港の利用状況及び丘珠便の増便について

本年1月末現在の丘珠線利

用客数は、14年9月より通年2便体制になったことから、今年も5万4千3百22人で昨年を上回りました。

千歳便は、4万1千43人であり東京便は7万9千5百90人で前年対比84%です。

教育行政報告

各種大会出場結果について

スポーツでは、小学生バレーボール選抜大会に丸山フアイターズが出場、全道優勝するなど、その他多くの大会に各種出場し大活躍をしました。文化関係では、中学校吹奏楽部と農業高校がそれぞれ金賞及優秀賞を受賞しました。

中標津運動公園冬季スポーツ施設の利用状況について

12月23日にスピードスケート・アイスホッケー場をオープンいたしました。その後大雪の影響で53日間の9千2百75人の利用となりました。

平成15年度根室管内教育実践関係表彰の受賞について



根室管内教育実践表彰

本町からは「実践賞」3校、「奨励賞」1校、「教育実践表彰」1校が評価され受賞いたしました。

道立高等学校通学区域の改正について

改正の主旨は、生徒の能力・

平成15年度建設工事の発注状況について

平成16年3月1日現在で、発注計画2百12件、金額で27億9千9百9万7千円全て終了いたしました。

適正・興味・関心・進路希望に応じた多様な学習が可能となるように、ほかさまざまな理由により1月15日改正が決定いたしました。

新制度については、管内住民やPTA、教育関係者に対し2月26日説明会が開催され、平成17年度より実施することになります。

中学校生徒による暴行事件について

この事件は2月27日生徒2名が傷害などで現行犯逮捕されたことから学校では、全校集会や臨時保護者会を開催し、事件の報告と今後の取り組みについて話し合いました。

また、教育委員会としても、事件の再発防止など適切な生徒指導の実施などを支援してまいります。

一般質問

あなたにかわって町政の考え方を質す

6名の議員が町理事者に質問しました。
その内容を要約し掲載します。

16年度予算案から

検討協議と努力

殿守 富 議員

町 長

質問

地方交付税等の減少で歳入確保が難しく、町予算編成も大変な苦労が見られる。

歳入をおさえる中で民生費の子ども関連予算の伸びは評価するが、高齢者の老人バス利用無料化等の一発廃止は町民から反発がある。PFI活用は14年に提起し、財源確保が



町内循環バス

厳しい時こそ民間資金で社会資本整備にPFIを活用すべきでないか。

再三質問

しているゴミの件で、減量化を含め抜本的な問題解決に向け目標値や具体的な対策に予算編成で反映したか。

財源確保のため町が所有の未利用地を財産処分しては。知床世界自然遺産が明年指定登録されるが、これを活用した町づくりの考えは。

財源処分は将来公共施設等に利用されない未利用地。貸付地は経緯等十分調査し、慎重に隣接者・利用者等と協議し、売り払い可能な物件を整理して町民が納得する方法で処分。

町長答弁

PFI活用の公共施設整備の予定はないが、今後法の改正で小規模の案件にも適用出来れば制度研究は続ける。

ゴミ処理対策は14年度総ゴミ排出量12tを基準値とし、22年度には11t、現在の9千9百世帯の換算で1世帯平均一日約3百65ℓの減量化を進める。今

後は減量の目的・目標値で町内会や事業者と一層の連携・協力で推進する。

知床世界自然遺産活用は空港をアピールして滞在型観光の調査研究をし、本町観光戦略の観光交流空間作り事業に着手し、本年は調査事業に百万円を予算計上した。

災害時等の対応は

部局を超えた応援体制

殿守 富 議員

町 長

質問

2月22日、23日には中標津地方も暴風雪の大打撃を受け、町民から現状把握や問題解決のため問い合わせや電話等が殺到していた。

時には職員が一人での電話・無線・携帯電話・窓口対応等も大変で、通常の勤務時間を超えていた。他部局も集金等で同じことがあるが、早急な体制作りが必要。

災害時等を含め、忙しくなると労働過重や人権無視、そして職場環境や人間関係が悪くなることも考えられる。

理事者として目配りを。

町長答弁

災害時等の対応は限られた期間内の業務執行で特定の部署・職員の大きな負担となることもある。緩和策として繁忙期における部局を超えた応援体制の制

度や収納向上対策の組織化を行い対応する。非常時といえども、職員の健康管理には十分な配慮が必要であり、適宜・適切な措置を講じる。

再質問

先に質問の老人バス利用無料化についての答えがない。

平成5年当時の70歳以上は千4百人強で、16年には2千8百人弱で、人数は倍になっている。

町長は、いらぬものは切ることが必要なのは付けると言ってきたが一発で予算廃止の理由は？

町長再答弁

この事業は私が手掛けたもので、廃止の方法は色々あるが、厳しい財政を考え私の責任で廃止したのでご理解を。



排雪作業

高齢者等生活弱者への住宅供給

熊倉重樹 議員

補助制度の変更にも対応

町 長

質問

町の高齢化率も年々上昇しています。そこで、年金に頼って暮らすお年寄りや生活弱者の住宅問題が深刻になってまいります。

町営住宅は建替えによる年次計画で実施してきましたが、国の三位一体改革や財政事情によって計画が遅れが出ています。計根別団地以下の建設計画をお聞かせします。

高齢者等への住宅供給としては、国の「高齢者向け有料賃貸住宅制度」があり、この制度の活用の方もうかがいます。

また、公住建替えによる入居者の入れ替えや家賃の変更による対応。さらに、お年寄りを含めて団地内の通路や駐車場の除雪問題も深刻だと聞いています。これの対策や入居者への指導方法と、問題をクリアーしている団地があればお聞かせください。

生活弱者の住宅供給対策と、町内の景気浮揚のためにも公住などの建設促進をお願いします。

町長答弁

計根別団地は来年度建設を予定しています。平成18年度以降の計画については、難しい状況にあります。ご指摘の補助制度も念頭において、旭第2団地の整備を進めてまいります。

建替えの入居者移動は、ご理解をいただいでスムーズに行われていますし、家賃も5年間の傾斜措置をとっています。団地内の除雪は、入居者が行

防災対策と構造改革特区の検討は

田中利夫 議員

マニュアル配布と防災訓練

町 長

質問

1月13日からの大雪で大きな被害を受けましたが、近年予期しない自然災害が発生していますので、行政としての総合的な防災体制と、緊急時に町民の対応マニュアルを作成し、町民対応の徹底を図るように配布などの検討をいただきたい。

また、山沿い地域は特に雪や吹雪障害も多く、特別地域としての対策と、防風林などの整備

を含めて、長期的な対策を検討していただきたいと思えます。次に国策の構造改革特区についてうかがいます。

これは特定地域を指定して、規制の緩和を図るなど、その地域の経済の活性化を促す政策ですが、本町でのこれについての経過と今後の計画をお聞かせ願いたい。

町長答弁

1月13日夜半からの大雪で2億円以上の被害があり、防災意識を高めることは重要で、「自らの命は自ら守る」「自らの地域は

うのが原則で、そのように周知を徹底しています。団地によっては、環境整備費として積み立てを行い、自治会が管理人を中心に草刈や除雪費に当てている例があります。



西町団地

みんなで守る」を基本に、マニュアルの作成配布の検討や、東方沖地震の発生から10年を迎えますので、防災訓練の継続を図ってまいります。

構造改革特区の検討経過と今後の対応ですが、本町では農村地域における新しい産業の融合特区を提案しましたが、具体策に欠けるとして認定には至ってはおらず、今後民間からのプロジェクトも対象になりますので、PRして具体的な計画であれば国や道と協議をして提案してまいります。



豪雪状況

医師不足の解消は

飯島佐市 議員

新たな組織で具体策を

町 長

質問

根室管内4町の公的病院事務長で構成し、「へき地医療体制に関する研究会」を立ち上げたことに対して、いかに医師確保が難しいかとあります。

管内研究会で広域連携を柱とし、各町に分散している医療体制を合理化し、4町で共有することを骨子とし、町立中標津病院を母体に「中核病院」に位置づけ機能の強化・他の公的病院

は縮小するとの総括でした。

「道が国に要望」とマッチしている現状ですが、2千2年から検討を重ねた結果を、2月の報告で解散することで無駄にならないようにしていただきたい。

一、広域連携を柱とする町立中標津病院が母体となる「中核病院」の位置づけと強化。

二、2千2年から検討を重ねた結果を、2月で解散とのこと、今後の考え方について。

町長答弁

現状の医師派遣のあり方は、各町で一般会計から多額の繰り入れでの運営状況です。現在地域センター病院の指定を受けており、道の支援・協力の下に機能強化を図り、医師の派遣も中核病院に対する配置を要請し、地域内の連携を図ることを考えております。

4町で概ね合意があり、さらに具体的な事項を検討する新たな組織を立ち上げる合意を得ております。

北海道は広域連携のモデル地域として論議しており、早い時

期に関係機関・住民代表も含めた中で協議をし、安心して暮らせる医療サービスの向上を図りたい。



町立中標津病院

財政健全化と合併問題

三友盛行 議員

経営資源の有効活用で

町 長

質問

財政の健全化を図るため、新たに普通建設事業の一般歳出における構成比を20%を下らないこと、町債依存を6億円以内とすること、人件費は町税の範囲内とするなどの設定をしましたが、設定根拠の説明を求めます。

両町の合併の最大の根拠として、羅臼町では財政上合併の道しかなく、本町も近い将来の財政上の問題が選択理由でした。

両町民は財政困窮だけで合併することに懐疑的な思いが強いわけで、その他の理由について示してほしい。

町長答弁

本町の経済は、ある程度公共事業に依存している部分もあり、雇用対策も考慮し、また、社会資本の整備も必要です。

合併協議風景



町債を増大させると財政運営の硬直化となるので、償還以上の起債をしないことです。

税収が伸びない中では人件費を増大させず、また、職員の給与は税により賄われているという意識を向上させるためです。

基礎的自治体としての能力の向上・行政の効率化、単独ではできない発展等です。

ある程度の規模の自治体をつくり、両町の共通する部門を統合し効率化を図ります。

酪農と漁業の結びつき

知床世界遺産と空港の結びつき、漁業資源と商業地との連携など、基本構想・建設計画を考えます。消極的な姿勢ではなく、地域間競争を勝ち抜く新たな挑戦と考えるべきです。

飛び地である遠隔地との合併は効率化に矛盾しないかとの質問ですが、遠い町同士が一緒にすることで、財政運営の効率化や住民生活の利便性の向上につながるかは、他の地域からみれば効果は薄いかもしれません。

面積や距離は増加しても、地域の生き残りのため、経営資源の有効活用が大事です。

商工・林業の振興と子育て支援

三友盛行 議員

均衡を図る支援

町 長

質問

林業は安い輸入材等に押され、衰退の一途をたどっています。近年、環境が問われる中で、森林整備・植林の必要性が求められており、また、地元木材の多様な利活用も望まれています。この時代背景の元で林業の振興をはかるべきと思います。また、商業は大手資本による大型店の一人勝ちが一般化しており、今、商工の振興に力を入

れなければ、地域の崩壊を招いてしまいます。子育て支援センター、児童館運営体制の充実と、従来より踏み込んだ対策がありました。未就学児童対策は従来通りです。特に認可外保育所なしでは、本町の保育行政は成立せず、町立・法人と同様に行政支援があ

って然るべきと考えます。

町長答弁

商業に対する公的資金の介入は制限がありますが、中小企業やベンチャービジネスなどには支援をしてまいります。

地域内経済の均衡を図るため循環型経済を推進し、商工会とともに取り組み、商店街活性化事業を支援してまいります。

また、保育ニーズの把握と各保育所の活動をとらえ、対処いたします。



児童館

施政方針の地域産業振興は

松村康弘 議員

合併による新たな可能性を

町 長

質問

『町財政は厳しい』このフレーズは錦の御旗であります。この言葉さえ唱えれば、給与はカットされ、新規事業は見送られ、福祉に大鉈が振るわれることが正当化されるようになりました。

大都市住民の払った税金は大都市に、という政策の結果、大都市圏の経済は、地方とは趣きの違う活況を呈しており、勃興

するアジアの経済成長はさまざま、このデフレ下にあつて、建築資材が高騰するという現象



が起きています。

これらの富に対し、国の収税機能や分配機能に依存せず、地域として直接的にアクセスする産業振興の方針を示し、財政再建の方策を示すことが、施政方針の最優先順位ではないかと考えますがいかがでしょうか。

町長答弁

我が町の歳入に占める町税の割合は2割弱、交付税は4割弱であり、この地方交付税が、ここ4年間で13億円減額されたことにより、本町の財政は危機的状況にあり、一層の歳出の抑制

を余儀なくされてきました。

この状況下にあつて（応急的な対策として）北方領土隣接地域振興等補助金関係で1億円など国・道の補助制度を最大限活用するなどの努力をしておりますが、不足分を補うには程遠く、歳出の圧縮に努力してきました。その中で施政方針において、羅臼町との合併を重要な行政課題のトップに掲げましたが、知床世界遺産効果による広域観光の可能性や、羅臼町の漁業資源と当町資本との提携などにより、新たな可能性を拓いてまいります。

ブランドとしての「中標津」の発信

松村康弘 議員

空港利用と観光振興に

町 長

質問

先頃、雪印乳業中標津工場で生産された原料チーズ100%で作



中標津ブランドのチーズ

られた「中標津」というブランド名のスライスチーズを新製品として全国展開すること、そのパッケージを見せていただく機会がありました。

我が町の町名「中標津」は正確に読んでもらえないことが多く、その意味では「中標津」という漢字が正面に印刷され、ふりがなが打たれている製品が全国に展開することは、開町以来のチャンスがあります、こ

の機をとらえて我が町の有する空港利用促進や、観光関連の予算を有効に組み合わせ共働していくことは、この厳しい景況の中で、必ずや理解が得られると考えますが、いかがでしょうか。

町長答弁

本年4月1日から、雪印乳業で北海道中標津産ゴーダー100%でつくった「コクのあるスライスチーズ」と「とろけるスライスチーズ」のキャッチコピーで新製品が発売されることになりました。

雪印ではこれまでも工場所在地の地名を使いブランド化と上質化に取り組んでおり、この度の主たる目的は「中標津」の地域ブランドで高級化志向のチーズマーケットの調査的要素が多いと聞いております。

町としては、中標津をPRするチャンスととらえ、空港の利用促進等の観光振興に寄与すべく、雪印中標津工場・ANKとも厳しい財政下ですが、内容によつては可能なこともあり、コラボレーション（共同製作）の方向をつめてまいりたいと考えております。

地域特性を活かした観光振興

松村康弘 議員

観光空間交流づくり事業で

町 長

質問

釧路空港に台湾からのチャーター便が年間百便に迫る勢いで急増していますが、この原因にモンズーン地域に住むアジア人にとつて、我が地域は水田など

るとき、地元であるが故にそれらの価値に十分な評価をしない傾向にあり、企画は焦点をはずす可能性が極めて高いと云わざるを得ません。

を見ることのできない亜寒帯の入口であり、その自然や景観等、ほとんど全ての世界が異質であったからだと聞き及んでおります。

人材を送り、人間関係を築き、モニターとしてかの地の旅行代理店の関係者を招き、意見を聞くことで、我が地域の特性に良くマッチしたメニューが生まれることを期待していますが、いかがか。

町長答弁

私も我が地域の価値評価について、議員と見解を同じくしますが、世界遺産となる知床と我が地域全体は同じ原風景を有しており、その点ではプロローグの研究も大切だと考えます。

そう判断するなかで、新年度予算で観光空間交流づくり事業として百万円を計上しましたが、本町でどのような体験が可能で、



各種観光パンフ

観光客が満足し、リピーターとして何度も訪れたくなるサービス・体制・移動空間の演出・プロのインタープリター（自然がらのメッセーjジの媒介者）を育て、定着させ、コミュニケーションビジネスとして成立させることができるか、道内外のアドバイスをもらい、関係する方々と共同戦略を打ち出すことができるのかなどの調査・研究を行い、次年度以降の本戦略につなげてまいります。

3月定例会で決まりました

平成16年3月8日から18日まで開催し、議決された主なものを掲載いたします。

3月補正額(15年度分)

一般会計予算は8千6百86万9千円を減額し、百46億3千78万1千円となりました。

国民健康保険事業特別会計

予算は千8百99万8千円を追加し、24億5千9百38万2千円となりました。

老人保健特別会計予算は4千98万4千円を追加し、17億8千8百5万9千円となりました。

介護保険事業特別会計予算は5千31万3千円を減額し、8億9千5百78万2千円となりました。

下水道事業特別会計予算は4百35万8千円を減額し、16億6千3百63万8千円となりました。

水道事業会計予算は千百64万8千円を減額し、7億3千98万円となりました。

条例の制定と改正

主なものを掲載します

特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

平成16年6月に支給する三役(町長・助役・収入役)の期末手当支給率が引き下げになりました。

100分の210を100分の200に改正。

また、教育長についても同様に引き下げになりました。

寒冷地手当支給に関する条例の一部改正

町職員の寒冷地手当が平成16年度より減額となりました。

母と子の家設置条例の一部改正

計根別母と子の家が廃止になりました。

医療技術職員養成修学資金貸付条例の一部改正

「貸付期間」を「誓約した勤務期間」に、「修学資金貸付期間」を「誓約した期間」に改めました。

中標津町国民健康保険税条例の一部改正

	現行	改正案
所得割	100分の0.8	100分の1.1
資産割	100分の2.0	100分の2.0
均等割	2,400円	3,600円
平等割	3,600円	4,000円

主な改正は、国民健康保険加入者のうち、40歳以上65歳未満の方が負担する介護納付金課税分の税率が改正になりました。

中標津町産業振興条例の一部改正

補助金交付額が固定資産税相当額から固定資産税相当額の25%になりました。

中標津町緑ヶ丘森林公園設置条例及び公園条例の一部改正

パークゴルフ場の使用料が引き下げになりました。ミルクコースが廃止となりました。

中標津町簡易水道事業条例制定

町で管理・運営している営農用専用水道区域(西竹・計根別・開陽の営農用水)と簡易水道区域(計根別・上武佐)及び養老牛飲料水供給施設を中標津町簡易水道として統合しました。

これにより町が管理・運営する水道事業は上水道事業と簡易水道事業になります。なお、簡易水道事業は特別会計で運営することになりました。

中標津町農用地等集団化(交換分合)事業負担金の徴収に関する条例制定

交換分合事業に係る受益者負担が導入されました。

中標津町の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議員提案により特別職と同じく平成16年6月に支給する期末手当を「100分の195」から「100分の185」に引き下げました。

12ページにつづく。

3月定例会

員会一問一答...

主なものを掲載します

【質問】

地域資源景観調査業務は、観光振興等に向けた地域景観のデータベース化を目指していますが、作業の過程では広く町民の参加を得て作成してください。また、作成されたものを公開し、具体的に対策をとって将来に備えてください。

また、年間百20戸程度の住宅新築がありますが、ハウスメーカーの進出など地元業者の対策が必要な時期に民間住宅推進事業費が前年より減少しており、しかも6万円で本当に大丈夫か。もっと増額すべきと思いますが。

【答弁】

両事業とも対策の重要性については十分認識していますので、経過をみて考えてまいります。

【質問】

西胆振における最新鋭のガス化溶融炉が試運転しているが、不具合があり、大都市並のダイオキシンを外部に放出している」との報道がある一方、別海町にセンターを置く広域連合も、ガス化溶融炉での建設が予定されている。ま

た、この炉は現在、根室市に送って処理しているコストの倍近くかかるが、方針は変わらないのか。

【答弁】

ガス化溶融炉が、運転範囲が狭い処理方法であることは承知している。

処理方式は、広域連合でも審議され、性能発注で努力しており、予算計上まで来た今日に至っては、根室市を含む広域連合の再結成とか、焼却処理施設の着工凍結などは信義において考えることはできないので、ご理解いただきたい。

【質問】

農業後継者対策で専任相談員を廃止しましたが、今後どのように進めますか。

【答弁】

農業後継者対策につきましても、農業の根幹をなす重要な課題と考えております。町としては専任相談員の廃止をすることになりましたが、農業後継者対策は後退することなく両農協と十分相談しながら進め、より効果の上がる方向を検討してまいります。



【質問】

北海道遺産、格子状防風林の環境整備事業について、裾枝払い・枝打ちなどを計画していますが、次に人が入れるように、また、ホーストレッキングが出来るなど、人が参加し楽しめる林としての整備を進めるべきです。

【答弁】

大事な森林空間なので、今後利用拡大を考えます。

【質問】

特産品販路拡大啓発等に要する経費負担の廃止がされているが？。

【答弁】

平成4年から支援してまいりました特産品のPR販路拡

大について、当初の目的が達成されたため廃止します。今後新たな商品ができた段階で何らかの形で支援をしてまいります。

【質問】

商工費で特産品販路拡大啓発等に要する経費がなくなり、都市間交流事業費が大幅減額となっているが、今後の特産品販路拡大と都市（川崎市）間交流のあり方についてお聞きします。

【答弁】

都市間交流は無理をしないで長い付き合いをし、一定の期間で見直しもかけていききたいと思っています。

川崎市とは友好都市後お互いに祭りを盛り上げてきました。

近年川崎市より本町の祭り参加が難しくなったとのことなので、市民まつり参加も本年は民間指導で行っていくよう協議を進めているところであります。

【質問】

まちづくり活性化推進対策として商工業振興推進補助が計上されていますが、市街地の大型店が郊外へ移転をする

平成16年

予算審査特別委

ようです。十分な対策がなされたかどうか。

その過程で当該店の移転理由を聞き、その原因除去のため協議をしましたか。

【答弁】
規制緩和の進む中、法律の範囲の対応をしています。残念ではあるがやむを得ません。中心市街地の活性化にはさらに努めてまいります。



【質問】
国道バイパスと東19条通りの間の道路整備が予定されているが、大型店が進出してくる時期と重なり、西5条の郵便局へ入る際と同様の問題が指摘されている。これらの対応は十分考えられているか。

また、住民説明会や景観審議会の審議時間を考えると11月オープンには性急すぎはしないのか。

【答弁】
指摘される問題には十分に配慮したいと考えています。5百台以上の駐車場には駐車場法が適用され、一方通行の入り口・出口等を設けることとなるが、交通の流れを十分に考えて配置計画を指導したい。

住民説明会等については、地域住民の十分な理解が得られるよう対応していきたい。

【質問】
観光交流空間づくり事業は知床世界遺産と、羅臼との合併と連携するための事業と思いますが、空港と知床を結ぶラインの途中に他町村があること、地域一帯化の中での発展を期することは矛盾し、合理性に欠けてはいませんか。

【答弁】
世界遺産の活用については羅臼側とはまだ協議はしていません。他町村の問題も含めて協議してまいります。

【質問】
街路樹について、低木の植

樹をしますと、夏の間は交差点の見通しが悪く、冬期間は除排雪の邪魔になります。

土現・開発でも、ゆめの森公園の入り口や、バイパスの植樹を掘り返して草花の植え替えをしています。

除排雪に支障があることを考えますと、町に緑を増やす発想はわかりませんが、低木による植樹はやめることが出来ませんか？

【答弁】
除雪作業、特に排雪作業におきまして作業の障害になっているのは事実です。車を運転される方から「交差点の見通しが悪い」と苦情が寄せられております。

今後の街路樹整備につきましては、道路の形状や除雪作業を十分検討し、交通安全に配慮した計画をしてまいりたいと思っております。

【質問】
公営住宅建設事業「計根別団地」の建設実施設計予算について次の3点につき質問をいたします。

- 一、完成、入居はいつ頃か。
- 二、現在入居されている方々の要望は、入口がわかりに



く。1階に無駄な空間が多く寒い。外見は牛舎に酷似している。など悪評が高いことから建物設計を変更してほしい。

【答弁】
三、現在1棟8戸は百の灯油タンクが設備されており吹雪などで長期間交通網に影響がある場合は生活に支障をきたすため少なくとも2百50以上にしてほしい。

【答弁】
一、完成は平成17年を予定し、その後入居となります。
二、建物の設計については、全般的に見直します。
三、灯油タンクは、一般的な生活に見合う容量のものを設備いたします。

平成16年度中標津町の予算規模 (単位:千円)

会計名	平成16年度	平成15年度	比較	伸率	
一般会計	13,274,000	14,231,000	957,000	6.7%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	2,315,962	2,440,113	124,151	5.1%
	老人保健特別会計	1,809,725	1,729,887	79,838	4.6%
	介護保険事業特別会計	905,409	917,615	12,206	1.3%
	公設地方卸売市場事業特別会計	21,126	21,196	70	0.3%
	町営牧場特別会計	127,973	98,181	29,792	30.3%
	下水道事業特別会計	1,454,071	1,595,305	141,234	8.9%
企業会計	簡易水道事業特別会計	193,051	0	193,051	皆増
	水道事業会計	713,033	804,097	91,064	11.3%
	病院事業会計	4,517,696	5,037,790	520,094	10.3%
合計	25,332,046	26,875,184	1,543,138	5.7%	

人事



固定資産評価審査委員会委員の選任
 住所 標津郡中標津町西9条北9丁目7番地
 氏名 渡邊 利満
 任期 平成16年3月23日～平成19年3月22日



根室支庁管内町村公平委員会委員の選任
 住所 目梨郡羅臼町本町2番地4
 氏名 根塚 亨
 任期 平成16年4月1日～平成20年3月31日



人権擁護委員の推薦
 住所 標津郡中標津町東4条南7丁目29番地
 氏名 奥田 陽子
 任期 法務大臣の委嘱の日から3年間

意見書

平成16年根室管内等豪雪対策に関する意見書

提出者 笹谷 芳夫 議員
 防災保険制度の国営存続を求める意見書

提出者 殿守 富 議員
 基礎年金の国庫負担割合2分の1の早期引き上げと抜本改革の実現を求める意見書

提出者 高田 重樹 議員
 2005年度国家予算編成における義務教育費国庫負担法の堅持を求める意見書

提出者 松村 康弘 議員
 民事訴訟における「弁護士報酬敗訴者負担制度」の導入中止を求める意見書

提出者 F 橋 一爾 議員

条例改正 (議員提案)

議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
 提出者 熊倉 重樹 議員

根室支庁管内の議会議員と一般も参加し、標津町生涯学習センターにて、管内議長会主催で、講師にNHKアナウンサー、国井雅比古氏を招いてプロジェクトXの番組から「私の会った挑戦者たちの情熱」と題して講演が行われました。

管内の議員64名、一般70名



プロジェクトX・国井雅比古氏



と事務局・関係者合わせて百45名が受講しました。
 (中標津町は19名参加)
 「行政・個々では町村を守れないので、従来の枠にこだわらず、地域全体で見直し勇氣と情熱を持って挑戦することです」などの話があり、大変有意義な研修でした。

管内町議会議員研修会
 H16・2・13

平成16年 第1回臨時会

(平成16年1月15日)

一般行政報告

道管競馬ミニ場外発売所誘致要望について

道が平成13年度より進めている、売り上げの見込める地域にミニ場外発売所を平成16年度に本町に開設したいとの打診が町商工会と町にありました。

道競馬事務所では遊休施設の活用、学校・病院等から適当な距離があり、住民の生活、文教・保健衛生上支障等について現地調査したところでありませぬ。

中標津町商工会でも理事会協議の結果、長引く景気低迷下にあつてミニ場外発売所の設置は遊休施設の活用、雇用拡大、町外からの集客増の見込みから北海道と中標津町に誘致要望書が提出されています。町としても集客増、物品等の地元購買、雇用拡大等地域経済への波及効果も期待できることから、商工会の誘致要望を支援してまいりたいと考えております。

町道路線の認定及び廃止について

平成16年1月15日をもって、町道に認定されるのは23路線、廃止されるのは12路線。

平成15年度中標津町一般会計補正予算

除雪委託料他5千百60万6千円を追加して、総額が百46億1千7百65万円となりました。

平成16年1月から3月までの行事関係

期日	行事内容	出席者等	期日	行事内容	出席者等
1月6日	町新年交礼会	議長 他	3月3日	平成16年度酪農振興対策要望(東京)	議長 長
7日	町成人式	議長 他	4日	根室北部消防事務組合・中標津町外2町葬斎組合議会	議長 他
8日	消防団出初式	議長 他	5日	標津依橋大規模草地一部事務組合・根室北部衛生組合	議長 他
9日	議会広報特別委員会	委員	5日	中標津町・羅臼町合併協議会新市名称候補選定小委員会	議長 他
15日	第1回臨時会	全議員欠4人	8日	3月定例会本会議(1日目)	全議員欠1人
16日	議会広報特別委員会	委員欠1人	9日	3月定例会本会議(2日目)	全議員欠1人
19日	産業常任委員会	委員	10日	予算審査特別委員会(1日目)	全議員欠1人
21日	議会広報特別委員会	委員	11日	産業・建設常任委員会	委員欠1人
22日	町表彰式	全議員欠7人	12日	総務・文教厚生常任委員会	委員欠1人
29日	中標津町・羅臼町合併協議会(第1回)	議長 他	15日	予算審査特別委員会(2日目)	全議員欠2人
2月9日	管内町村議長会定期総会 管内1市4町議会正副議長協議会	正副議長	16日	予算審査特別委員会(3日目)	全議員欠2人
9日	文教厚生常任委員会	委員	17日	議会運営委員会	委員欠1人
13日	管内町議会議員研修会	全議員欠5人	18日	3月定例会本会議(3日目)	全議員欠2人
16日	総務常任委員会	委員	22日	合併問題特別委員会小委員会	委員欠1人
19日	建設常任委員会	委員欠1人	24日	議会広報特別委員会	委員
20日	中標津町・羅臼町合併協議会(第2回)	議長 他	25日	中標津町・羅臼町合併協議会(第3回)	議長 他
24日	産業常任委員会	委員	30日	議会広報特別委員会	委員
3月2日	根室北部廃棄物処理広域連合議会	議長 他			
2日	議会運営委員会	委員			

希望を 胸に

現体育館最後の卒業式
中標津中学校



新入生12名の計根別中学校



お友達になりましょう



計根別小学校の入学式



議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。

中標津町役場 TEL(01537)3-3111
FAX(01537)3-5333

議会事務局 内線502・503 にご連絡を...

ホームページは http://www.aurens.or.jp/hp/nakasi_t/
メールは nakasi-t@aurens.or.jp

発行 / 中標津町議会

編集 / 中標津町議会広報特別委員会

前号(60)の決算審査報告書の記事の中で文章の一部が重複しておりました。お詫びいたします。

「お詫び」

意識も戻り、少しずつ快方に向かっています。1日も早い復帰を願っています。

新入学児もようやく学校になれた頃で、連休を迎えます。合併の問題も協議が進んでいます。議会の合併問題特別委員長でもある佐々木輝夫議員が、3月定例会予算審査の初日に委員長として審議の最中脳溢血で倒れ、現在も療養中です。

編集を
終えて

